

りんご



放送大学 青森学習センター・八戸サテライトスペース

令和8年春号

- 2 | 新任所長のご挨拶
- 3 | 退任所長のご挨拶
- 4 | 退任教職員のご挨拶
- 5 | Professional Report
- 6 | 2025-2 学位記授与式

- 8 | 2026-1 入学者のつどい
- 9 | 学生団体のご案内
- 10 | 2026-1 客員教員ご挨拶
- 12 | 4・5・6・7月のスケジュール
- 13 | 事務室からのお知らせ



新任所長のご挨拶

青森学習センター所長
中野 博之



2026年4月、石川善朗前所長の後任として、放送大学青森学習センター所長に就任いたしました中野博之です。石川前所長は、当センターが弘前市の複合商業施設「ヒロロ」へと移転し、新たな学びの拠点として生まれ変わる重要な変革期に、その舵取りを担われました。このたび、その大切なバトンを受け継ぐにあたり、前所長が築かれた基盤をさらに発展させ、皆様にとってより身近で開かれた「知のベースキャンプ」となるよう努めてまいり所存です。

人生100年時代、学びは学校教育だけで完結せず、生涯続く「探究の旅」となりました。私はこれまで、小学校教員として22年、大学教員として21年、計43年間、教育現場に身を置いてまいりました。こうした中、私の専門である算数・数学教育学の研究を通して「学校教育の中で算数・数学を学ぶことの価値」を探究し、一つの確信を得ました。それは、学びの喜びとは単なる記憶だけではなく、「未知の知識」を「既知の経験」と結びつけ、統合することにもあるということです。一見難解な問題が既習の考え方とつながり、その構造が見えた瞬間、子どもたちの瞳は輝き出します。この知識と経験が結びつく「統合」の瞬間こそが、学習の醍醐味なのです。

放送大学に集う皆様の豊かな「経験」に、アカデミックな「理論」が注がれた時、これまでとは異なる深い納得が生まれます。「あの時の出来事はこういう理論で説明できるのか」というような「統合」の瞬間を重ねることで、学びは知識の蓄積を超え、人生を読み解く鍵となります。この喜びを知るからこそ、人はまた次の問いを立てたくなるのです。自らの経験と知を統合し、主体的に世界を広げ続ける「自律した学習者」としての在り方こそ、現代のキーワードである「ウェルビーイング」そのものだと思っております。

私たち青森学習センターは、弘前市「ヒロロ」の本センターと、八戸駅直結「ユートリー」内のサテライトスペースを連携させ、どの地域にお住まいであっても学びが実るようサポートしています。通信制の強みは場所を選ばないことですが、困った時に頼れる「物理的な拠点」があることも大きな安心感に繋がります。本センターやサテライトスペースでの面接授業や学習相談では仲間との語り合いなど、対面ならではの時間が過ごせます。個の学びと、センターやサテライトスペースという場の安心感の両輪が、皆様の継続の力となります。

「もっと知りたい」という尊い動機を私たちは全力で応援します。皆様の人生という長い旅路において、安心して立ち寄り次なる頂を目指す「知のベースキャンプ」でありたいと願っています。さあ、私たちと共に、新しい知の扉を開いてみませんか。

所長による
学習相談の
ご案内

相談日▶センター開所日
相談分野▶算数・数学教育学

※ご希望の方は、事務室へ、①氏名②連絡先③希望の相談日をお知らせください。

退任所長のご挨拶

前青森学習センター所長
石川 善朗



令和5年の4月1日より青森学習センター所長に着任し、令和8年の3月31日までの任期を本年満了いたしました。長いようで短かった3年間を過ごさせていただきました。

ここで3年間の主な活動を振り返ってみます。

さて、赴任と同時に青森学習センター30周年記念誌発行並びに記念行事の挙行の計画と実行が待っていました。さらに翌年には学習センター移転計画があり、母体校の弘前大学の敷地内別の場所か、あるいは別の校外外部移転を迫られ場所の選定に苦慮していました。その後、赴任初年度の記念誌発行と記念行事の公開講演会は滞りなく挙行できましたが、さて翌年からの移転問題が難題となってきました。なかなか良い場所が見つかりません。色々な場所を視察し、調査が続きましたが青森市と弘前市にまず絞り込み、続いて青森市の調査から弘前市のみになりました。弘前市役所のご協力もあり、何か所の推薦もいただきましたが結局自分の知人を頼り、弘前駅前前の準商業ビル「ヒロロ」内に放送大学本部とヒロロ側の直接交渉の結果移転することを決定しました。年度が改まり4月からはいよいよ移転のための行動開始です。移転前より廉価にし、縮小し、効率よい場所の設計です。間取りやインテリアデザインは本部担当者と打ち合わせにより決定し移転いたしました。実際の移転作業は日中営業している店舗が多いため夜間に行います。移転後は整理と原状回復の期間でした。少し学生の皆さんにご不便をおかけしたかもしれません。

一つ大きな仕事を終えましたが、最後の年度は放送大学のデジタル改革がより一層進み始めた年です。面接授業にも新しい「ライブWeb授業」が取り入れられて来ていましたが、いよいよ青森学習センターも行うことになり、色々な準備も始まりました。さらには全国的な予算削減の機運で、さらなるスリム化を挙行することが命題となりました。窓口業務も現金ではなくデジタルキャッシュレス化になり、学生に対することもデジタル化が推進されてきました。このような時代に、道半ばで後任の先生に職を交代することは、何ら解決していない面倒ごとを押し付けるようで心苦しい限りです。

しかし、一番の思い出は知的好奇心の旺盛な学生さんたちとのお付き合いでした。大変勉強にもなり刺激も受けました。いつまでも勉学に励みたいとの欲求をなくさないでいることの大切さを実感させられました。このことがやはり3年間の一番の思い出です。

2025年度第2学期学位記授与式

2025年度第2学期学位記授与式が、4月4日（土）青森学習センター、4月5日（日）八戸サテライトスペースにて行われました。今回、卒業・修了を迎えた方は、青森SC・八戸SSをあわせて41名。式当日は出席者ひとりひとりに中野所長から学位記が授与されました。卒業生・修了生の皆様、このたびはおめでとうございます！！

青森学習センター



八戸サテライトスペース



2025年度第2学期卒業生・修了生の内訳

- ・青森SC 教養学部 計21名、大学院 計1名
生活と福祉8名／心理と教育9名／社会と産業3名／情報1名／情報学プログラム1名
- ・八戸SS 教養学部 計19名
生活と福祉5名／心理と教育4名／社会と産業1名／人間と文化1名／情報3名／自然と環境5名



放送大学青森学習センター学生表彰

青森SC・八戸SS所属学生の生涯学習に対する奨励を目的として、2014年度より「放送大学青森学習センター学生表彰」を行っています。今回は、青森SCの卒業生2名と八戸SSの卒業生2名が受賞者となり、長年にわたり学業に励んだ功績を称え、表彰状と記念品が授与されました。また、2名の卒業生が名誉学生の表彰も受けられました。



2025年度放送大学学位記授与式



3月20日、東京・ベルサール高田馬場にて2025年度放送大学学位記授与式が行われ、全国から集まった2025年度第1学期・第2学期の卒業生・修了生が式に臨みました。青森SC・八戸SSをはじめ、全国の卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます！！皆様の晴れやかな姿が、のちに続く学生方においても励みになることでしょう！！

— 卒業生のことば —

「卒業研究への挑戦」

青森学習センター 新岡 道子

「社会と産業コース」での卒業は、「情報コース」「生活と福祉コース」に続き、私にとって3度目の節目となります。今回は初めて、卒業研究に挑戦しました。

申請から1年以上をかけた研究では、内容を深めていくことはもちろんのこと、WordやPowerPoint、ZoomといったICTツールの操作にも悪戦苦闘の連続でした。それだけに、口頭試問を終えた瞬間の達成感と安堵感は、何物にも代えがたいものでした。無事に卒業が決まり、今は心からホッとしています。

4月からは「人間と文化コース」へ再入学します。「生涯現役大学生」を目標に、また新たな気持ちで学びの道を歩んでいきたいと思っています。

「なんとか卒業です」

八戸サテライトスペース 畑 雅之

多様な学びの機会があるなかで、選んだ放送大学。届いた教科書を開きすんなりと読み進めることは稀、放送授業を聞いても難しい、なんでこの科目を選んだと自問自答も有。計画的に学ぼうと自分なりに考え、習慣化しようとするがそんなに甘くはない。試験日近くになり慌てて教科書を読み直すことも何度あったことか。

世代の異なる学友と席を並べる面接授業は励みになりました。他県地域の学習センターの授業も何度か受講。様々な出会いも学べる、私には得難い楽しみの授業でした。

何とか卒業迄漕ぎ着けられたことを自分なりに評価。生涯学習これからも続けます。

「二度目の学生生活で見た青森の豊かさ」

八戸サテライトスペース 山本 彩記

一度目の心理と教育コースがきっかけで、心を形作る土台を知りたいと考え、人間と文化コースに再入学しました。面接授業では、是川遺跡の縄文人の技術や種差海岸の独自の植生、八戸工業大学のドクターカーの開発など、地元出身者でも知らない知識を得ることができました。最も印象に残ったのは、遠方から来られた学生さんたちの姿です。その熱意に触れ、地元青森にも学ぶべき技術や文化がまだまだ溢れているのだと実感しました。

八戸サテライトの中国語ゼミでは、生きた発音を聞きながら丁寧に取り組みました。中国語の山本先生、事務の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます！



2026年度第1学期入学者のつどい

4月4日(土)と4月5日(日)の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて「2026年度第1学期入学者のつどい」が行われました。

放送大学学歌演奏や学長挨拶の上映、センター所長式辞、入学生と在学生代表の挨拶、学友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



青森学習センター



八戸サテライトスペース

一学生生活をスムーズに送るために



新学期を迎え、放送大学での学習を始める入学生・在在学生の方へのお知らせです。

活用しよう『学生生活の葉』と『利用の手引き』

「学生生活の葉」と「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、各種届出様式など、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子ですので、よく読んでご活用ください。※「学生生活の葉」は2026年度よりウェブでの公開のみとなります。

システムWAKABAのパスワード変更はお早めに

必ず初回ログイン時に、初期パスワードを変更するようお願いいたします。(初期パスワードが変更されていない場合、ログインすることができません。) ログインできない場合は、お問合せください。

学生証の受取

学生証は、施設の利用、単位認定試験を受験する際(「学習センター受験」の場合)に使用します。

青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口で交付いたします。新規入学・継続入学生は入学許可書を、在 student で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証を窓口へご持参ください。郵送を希望する方はお問合せください。なお、顔写真を登録していない場合は発行ができませんので、システムWAKABAの「学生カルテ」または「学生生活の葉」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。

学生教育研究災害傷害保険(学研災)への申込み ※任意

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学は通信教育に区分されており、保険料は100円、通学中の特約を含む場合は140円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。ただし、加入日にかかわらず、4月入学者の保険終期は3月31日に、10月入学者の保険終期は9月30日になりますのでご注意ください。

詳細につきましては、入学生の方は先に送付の『「学研災」のごあんない』にてご確認ください。

一学生生活をもっと楽しく！ 学生団体のご案内

青森同窓会

青森同窓会から ~今年度も充実した活動を~

青森同窓会会長 関川 宏明

昨年度は、12月に大きな地震がありましたが、学習相談&体験講話会など予定していた行事を実施することができました。

今年度は、5月に弘前市での定例総会を予定しているほか、4月と10月には昨年度と同様、卒業祝賀会を青森学習センターと八戸サテライトスペースで行います。また、コロナと昨今の猛暑により実施を見送っていた夏のイベントについても八戸で開催を予定しております。

学友会やミステリーサークルとも協力しながら各行事を実施したいと考えておりますので、ご参加をお待ちしております。

学友会

学友会は、「人と人のつながり・情報交換の場」

学友会会長 三橋 知巳

学友会では年齢、経歴など様々な人々との親睦の場です。

2月には「雪灯籠まつり散策・みそ造り体験」を行いました。

4月29日は恒例の「観桜会」もやります。(会員以外も参加OK!)

是非いろいろな方たちとのコミュニケーションを楽しんでください。

入会申込は学習センター事務室で。(年会費1000円)



サイコロサークル

サイコロサークルの紹介

私たちメンバーは、先生を除き素人です。心理学を中心に情報交換や相談事...等、お互いに良い影響を及ぼしあえるように学習会やイベントを企画して楽しんでいます。一人での履修では孤独感や不安を感じる事があると思います。仲間がいるって良いですよ。是非、サイコロサークルを覗いてみて下さい。

ミステリーサークル

八戸ミステリーサークル会員募集中!

ミステリーサークル総長 上野 光弘

学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。会費は無料です。学習相談も実施しております。入会したい方はサテライト事務室までご連絡ください。時間がある時のみの参加でOKです。文化祭での展示の写真とマジック動画をお楽しみください。大学以外でボランティア活動としてマジックショーもやっています。



★入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。
★学生団体の設立について：研究やスポーツなどのため、学生団体(サークル)を結成しようとするときには、学生の中から責任者を定め、「学生団体結成願」等の必要書類を4月または10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります。詳細については、青森学習センターへお問い合わせください。

2026年度第1学期客員教員からのごあいさつ

●青森学習センター

■ゼミは「青森学習センター多目的室1」で行います

水 今井 正浩 先生

前弘前大学人文社会科学部 教授



相談分野：西洋古典学、
古典ギリシア語・ラテン語
相談日：水曜日 10:00～12:00
ゼミ：「プラトンの初期対話篇『ゴルギアス』
篇を読む」
指定の水曜日 10:30～11:30

元弘前大学人文社会科学部教授の今井です。わたしの専門分野は、西洋古典学（古代ギリシア・ローマ時代の歴史・社会・文化・思想等について、古典ギリシア語・ラテン語の原典に基づいて、深く掘り下げて研究する学問）です。2026年度も、放送大学青森学習センター客員教員として、学習相談・ゼミナールを担当させていただきます。宜しく願います。ゼミナールでは、古代ギリシアの哲学者プラトンの初期対話篇『ゴルギアス』篇の講読を通して「正義と善」の問題について受講者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。ゼミナール・学習相談等の機会に、お気軽に声をかけていただけたら幸いです。

木 田名場 忍 先生

弘前大学教育学部 教授



相談分野：社会心理学・臨床心理学
相談日：指定の木曜日
9:45～11:45
ゼミ：「研究論文から学ぶ心理学」
指定の木曜日 10:15～11:15

弘前大学教育学部では「心理学基礎実習」「社会心理学」等の授業を担当しています。これまで対人認知の研究を主に行い、臨床心理士としてスクール・カウンセラー等の活動もしてきました。

ゼミでは、心理学の研究論文をじっくりと読み進めながら、心理学の最新知識、研究方法を学んでいきます。さらに、研究論文に求められる内容や書き方、思考の仕方、関連概念等についても、皆さんと議論したいと思います。

木 北嶋 結 先生

弘前大学大学院保健学研究科 助教



相談分野：看護学
相談日：木曜日 15:30～17:30
ゼミ：「地域で暮らし続けることを考える
—暮らしと看護の視点から—」
指定の木曜日 16:00～17:00

保健学研究科の北嶋結と申します。専門は地域・在宅看護学および老年看護学で、地域で生活する人々が病いを抱えながらも自分らしく暮らし続けるための支援について検討しています。本ゼミでは、子どもから大人、高齢者まで、地域で暮らし続ける人々の日常に目を向け、病気や老いとともにある生活や判断について考えます。看護の視点を手がかりに、皆さんと一緒に対話を重ねながら理解を深めていければと思います。

金 櫻田 安志 先生

弘前大学教育学部 教授



相談分野：電子工学・情報工学
相談日：金曜日 10:00～12:00
ゼミ：「『情報I』の教科書で“情報の基礎”を学ぶ」
指定の金曜日 10:30～11:30

弘前大学教育学部の櫻田安志と申します。大学では、「電気技術基礎・実習」、「情報技術基礎・実習」などの分野の授業を担当しています。専門は電子工学や情報工学に関する教育分野です。これまでの研究では、それらの内容に加えて光の物理学に関する研究も行ってきました。

ゼミナールでは、教科書を読みながら、脱線を繰り返しながら、時には手を動かして、情報科学の基礎について、一緒に学んでいきたいと思っています。

●学習相談・ゼミは、事務室窓口または電話にて申込みを受付します。①氏名、②連絡先、③ゼミ名または希望の相談日をお知らせください。●案内チラシや各ゼミのシラバスを、青森SC・八戸SSで配布しているほか、青森学習センターwebサイトでも公開しております。

金 島田 透 先生

弘前大学教育学部 准教授



相談分野：化学
相談日：金曜日 13:00～15:00
ゼミ：「化学と日常生活」
指定の金曜日 13:30～14:30

弘前大学教育学部の島田と申します。専門は化学（分光化学）で、光を使って物質の構造や性質を調べる研究を行っています。近年は、小・中学校の理科教育に関わる教材の開発や、リングの非破壊計測に関する研究などにも取り組んでいます。

ゼミナールでは、日常生活と関わる化学に関する話題提供を行い、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。化学の威力と魅力を感じていただけるよう頑張ります。

土 前多 隼人 先生

弘前大学グローバルWell-being総合研究所 教授



相談分野：食品科学
相談日：土曜日 9:30～11:30
ゼミ：「イメージできる栄養学」
指定の土曜日 10:00～11:00

弘前大学農学生命科学部にて、「食品機能学」や「栄養化学」などの講義を担当しています。また青森県産農林水産物に含まれる健康維持に役立つ機能性成分の研究や、研究成果を生かした製品開発を企業と共におこなっています。ゼミナールでは、健康維持に役立つ栄養学の基礎について学んでいきます。日頃の生活にも役立つ食と健康の関係について、皆さんと共に楽しく学んでいける事を楽しみにしています。よろしく願い致します。

●八戸サテライトスペース

■ゼミはユートリー4階で行います。（会場は、サテライト事務室でご確認ください）

水 山本 忠 先生

前八戸工業大学基礎教育研究センター 教授



相談分野：中国語学
相談日：水曜日 13:30～15:30
ゼミ：「もう一度ゼロから始める中国語（I）」
指定の水曜日 14:00～15:00

語学学習のツボは何かというと、まず単語や文を理屈抜きに暗記すること、それから文法の知識を用いて文の構造を理解することでしょう。暗記するときは、お手本をできるだけ正確に聞き取り、次にそれを、自分流にアレンジすることなく忠実に発声して再現することが肝要です。中国語はヨーロッパ諸語のような活用や語形変化がありません。文法は語順が鍵となります。

以前中国語を学習した方もこれからやろうという方も、回数を重ねて練習すれば成果は必ずあらわれます。とにかく回数が大事です。一緒に頑張りましょう。

金 井元 紀子 先生

八戸学院大学人間健康科学部 教授



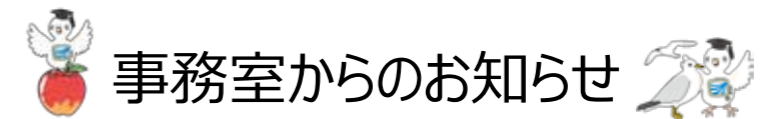
相談分野：栄養学、微生物学・免疫学
相談日：金曜日 10:00～12:00
ゼミ：「健康と栄養と微生物」
指定の金曜日 10:30～11:30

八戸学院大学人間健康科学部の井元紀子と申します。大学では、健康、栄養、微生物、免疫に関する授業を担当しています。

健康や栄養に関する知見は日々更新されています。ゼミナールでは、その時々話題や関心に合わせて、健康や栄養に関する文献を中心に、時折、微生物や免疫分野の文献なども取り上げます。文献と一緒に読みながら、自由に意見を出し合い、楽しく理解を深めていきましょう。ぜひお気軽にご参加ください。

●学期途中からも参加できます。単位にはなりませんが、客員の先生や他の学生たちと学べる良い機会です。お気軽にご参加ください。●ゼミの日程は、都合により変更・中止となる場合もあります。センター・サテライト掲示板や青森学習センターwebサイトを確認できない場合は、お電話にてお問い合わせください。

4月・5月・6月・7月のスケジュール



閉所日 面接授業 通信指導提出締切 単位認定試験

月	4月						
	月	火	水	木	金	土	日
4月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
4月 4日(土): 2025年度第2学期学位記授与式・2026年度第1学期入学者のつどい(青森) 5日(日): 2025年度第2学期学位記授与式・2026年度第1学期入学者のつどい(八戸) 17日(金): 2026年度第1学期面接授業 追加登録事前申請 【15:00】空席発表・受付開始《～22日13:10締切》 23日(木): 2026年度第1学期面接授業 追加登録先着申請 【15:00】受付開始《～各科目の受付期限日》 面接授業 18～19日: 対人行動の心理学(青森) 25～26日: 西洋古代の医学と哲学・宗教(青森) : ものの表面の科学(八戸)							
月	5月						
	月	火	水	木	金	土	日
5月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
5月 1日(金): 2026年度夏季集中科目履修生(司書教諭) 出願郵送受付開始《～5/31本部必着》 1日(金)～2日(土): 臨時閉所 7日(木): 2026年度第1学期通信指導提出受付開始【Web】 13日(水): 2026年度第1学期通信指導提出受付開始【郵送】 27日(水): 2026年度第1学期通信指導提出締切 《郵送必着 / Webは17:00まで》 面接授業 9～10日: 現代的課題と生涯学習(青森) : 中国語を学ぼうー入門編から(八戸) 16～17日: 心理学実験2(青森) : 高齢者の健やかな暮らしを考える(八戸) 23～24日: 生活空間情報の表現ーGIS入門(青森) 30～31日: 社会を支える電力システム(八戸)							
月	6月						
	月	火	水	木	金	土	日
6月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					
6月 10日(水): 2026年度第2学期出願受付開始【Web・郵送】 《～9/9 教養学部、大学院修士選科生・修士科目生》 面接授業 6～7日: 戦争と平和ーその法と歴史(青森) : 心理学実験1(八戸) 13～14日: 発掘が語る縄文文化(青森) : 環境と生物ー種差海岸で考えるー(八戸) 20～21日: 近代青森のあゆみと暮らし(青森) 27～28日: アニメーションー誕生から現在(青森)							
月	7月						
	月	火	水	木	金	土	日
7月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
7月 14日(火)～22日(水): 2026年度第1学期単位認定試験 ※科目によって締切が違いますのでご注意ください。 面接授業 4～5日: 白神学ー白神の動物と植物(青森)							

閉所日週2日制導入について

2026年4月1日より、閉所日は以下のとおりとなります。

- ・4月～7月及び10月～12月は、月曜日・火曜日
- ・8月～9月及び1月～3月は、日曜日・月曜日
- ・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
- ・学長、所長が必要と認めた日

通信指導を提出しましょう

原則インターネットを通じて提出します。(一部科目のみ郵送で実施します。)通信指導に合格して初めて単位認定試験の受験資格が得られます。未提出の場合は、単位認定試験が受けられませんので、余裕を持って提出してください。

- 【提出期間】 ★ Web通信指導の場合 … 5/7(木)10:00～5/27(水)17:00
 ★ 郵送提出の場合 … 5/13(水)～5/27(水) **大学本部必着**

※2026年度より、択一式提出型問題の添削結果および自習型問題の解答・解説については、原則Webでの確認のみとし、郵送は行わないこととなります(郵送提出科目を除く)。解答・解説はWeb通信指導上で確認することができます。ただし、Web提出が困難な学生には引き続き郵送します。

再視聴施設【あおもり校】をご利用ください

学習センターやサテライトスペースのほかにも、放送授業を再視聴できる施設を設けています。青森県内には、青森市の市民図書館内「青森学習センターあおもり校」があります。お近くにお住まいの方は是非ご利用ください。

- 放送大学生のほか、青森市民図書館利用登録者も視聴できますが、教材の館外貸出は放送大学生に限りです。
- ご利用の際は、図書館の利用案内に従ってください。また、利用の際には学生証をお持ちください。
- 再視聴施設では、学習相談や各種手続き等は受け付けておりません。
- 再視聴施設へのご要望については、青森学習センターへお寄せください。

2026-1 単位認定試験について

単位認定試験は、Web受験方式にて実施します。科目によっては、一部郵送受験方式ですが、試験日程など違いがありますのでご注意ください。

実施概要

- インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- 試験期間中、都合のよい日時に自宅等から受験することができます。
- 1科目50分の時間制限があります。
- 受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まった後は、受験画面を離れてもカウントダウンは進行します(一時停止不可、1科目1回のみ受験可能)。
- 提出ボタンを押さずに制限時間が経過した場合、制限時間経過時点の解答が自動提出されます。
- 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載しています。
- 「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。
- 「行政学講説(‘24)」、「正多面体と素数(‘21)」、「日本美術史の近代とその外部(‘18)」、「量子化学(‘19)」のみ、郵送受験方式(自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法)で実施します。

試験日程

Web	記述・併用式	7月14日(火)9:00	～	18日(土)17:00
	択一式	7月14日(火)9:00	～	22日(水)17:00
郵送	※一部科目のみ	7月14日(火)	～	18日(土)《必着》

2026年度から「単位認定試験通知（受験票）」の郵送を、廃止します

2026年度から、「単位認定試験通知（受験票）」の郵送を、廃止いたします。ただし、単位認定試験を学習センター等で受験される方については、引き続き受験票を郵送いたします。

■（必ずご確認ください！）2026年度からの受験票の扱い

単位認定試験受験場所	単位認定試験通知（受験票）の扱い	
全て自宅受験	受験票は郵送いたしません。	→下記（1）を確認ください。
記述・併用のみ 学習センター受験	（記述・併用科目を受験しない場合） 受験票は郵送いたしません。	→下記（1）を確認ください。
	（記述・併用科目を受験する場合） 受験票を郵送いたします。	→下記（2）を確認ください。
全て学習センター受験	受験票を郵送いたします。	→下記（2）を確認ください。

（1）単位認定試験をご自宅等で受験される方へ（受験票の郵送なし）

当該学期に受験可能な科目は、システム WAKABA「教務情報→単位認定試験時間割照会（学生用）」からご確認ください。

（2）単位認定試験を学習センター等で受験される方へ（受験票の郵送あり）

「単位認定試験通知（受験票）」を、郵送でお送りいたします。上記（1）の方法でシステム WAKABA 上でも確認可能です。

■ 郵送試験科目を受験される方へ

郵送試験科目を受験される学生には、別途郵送科目の受験に関する通知書を郵送いたします。

※ 郵送試験科目を科目登録した場合でも、通信指導未提出または不合格の場合は、通知書は郵送いたしません。

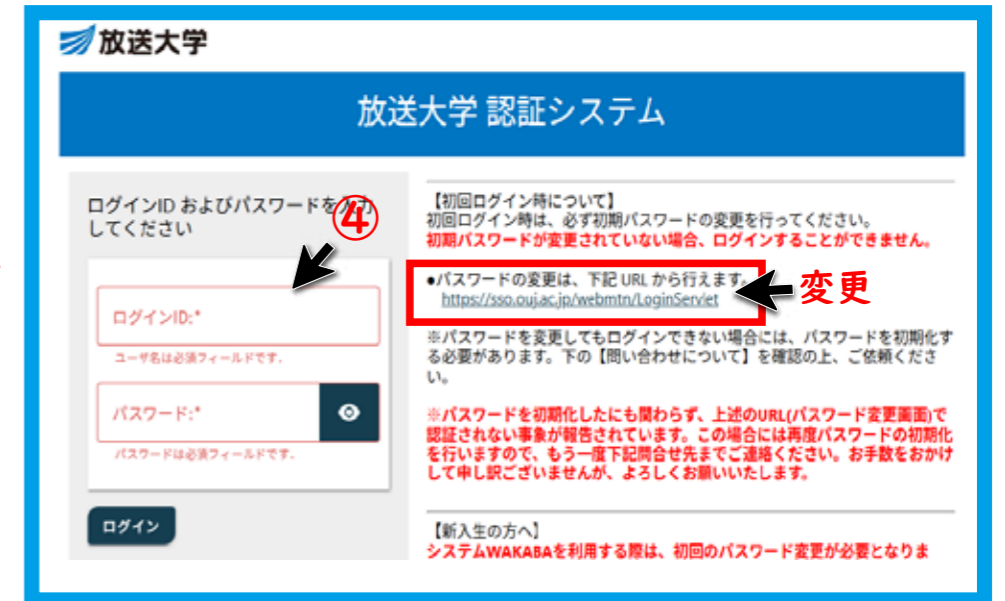
システム WAKABA

- ① 放送大学 web サイトを開き、画面上部にある「在学生（WAKABA）」
- ② システム WAKABA（教務情報システム）
- ③ 「ログイン」をクリック。



- ④ 「ログイン ID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリック。

パスワードは必ず一度変更を行ってください。



パスワード

- 新入生の方は、システム WAKABA 初回ログイン時に必ずパスワード変更を行ってください。
- 初期パスワードのまま一定期間経過した方は、ログインできなくなっています。再入学等の学生の方であっても、過去にパスワード変更を行っていないと、ログインできない場合があります。その際には、青森学習センターへご連絡ください。
- パスワードの条件：8文字以上、英字（大小は問わず）が1文字以上、数字が1文字以上、ログイン名をパスワード値に含まないこと

試験期間前に、必ず一度はシステム WAKABA へログインし、パスワードが有効か確認してください！！

Web 単位認定試験システムの「体験版」

- 体験版で、ログインから解答提出までの操作の流れを体験できます。実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験期間前までに必ず「体験版」の操作を行ってください。
- 詳細な操作方法は Web 単位認定試験体験版画面の左側にある「操作ガイド」をクリックし、ダウンロードしてご確認ください。



自宅等での Web 試験が困難な場合の学習センター受験

「インターネット環境がない」または「パソコン等の操作が困難」等のご事情により、自宅等での Web 受験が困難な方は、申請を行うことで、Web 単位認定試験を学習センター等で受験することができます。ただし、その場合は、以下のことにご注意ください。

- 学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」およびシステム WAKABA に記載の試験日・時限に受験する必要があります。なお、学習センター等の受入可能人数を超える数の申請があった場合、個別に受験日時の変更をお願いする場合があります。
- 学習センター等で受験する場合でも、原則として「試験問題の閲覧」および「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます（記述式の解答のみ解答用紙で行います）。
- 試験を開始する前までは職員がパソコン操作をサポートできますが、試験開始後は、ご自身でパソコン操作をしていただきます。職員はサポートできませんのでご了承ください。
- 既にセンター受験されている場合は改めて申請する必要はございません。

★申請方法★

・システム WAKABA の場合

教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験場所変更から申請

・郵送の場合

「単位認定試験受験場所変更願」（「学生生活の葉」巻末様式）を大学本部へ提出

★受付期間★

第 1 学期の単位認定試験から変更する場合 5 月 27 日（水）〆切（郵送必着）

Web 単位認定試験システムの操作体験会

下記日程で、「試験システムの操作体験会」を学習センター・サテライトスペースで開催いたしますのでご参加ください。

開催期間：6月17日（火）～7月12日（日）

※月・火は閉所日のため受付不可

- 操作体験会に参加希望する方は、事前予約をお願いいたします。
- 予約時に日付と時間（10:00～17:00）を調整いたします。
- 学習センター受験の学生または自宅受験だが操作に不安がある方は、操作体験会に参加し、あらかじめ Web 単位認定試験システム操作を確認してください。
- 学習センター受験申請をされていない方、前学期に参加済の方で操作等が不安な方も、ご参加いただけます。
- 前学期に操作体験会に参加された方や、操作に対する不安が解消されている場合は、参加は必須ではありません。
- 希望の日時に予約できない場合がございます。あらかじめご了承くださいませよう願いたします。
- 予約は電話（青森：0172-38-0500、八戸：0178-70-1663）または窓口にて申込願います。

学習センター・サテライトスペースの利用制限

「Web 単位認定試験システムの操作体験会」「単位認定試験会場」として使用するため、以下の日時は、施設の利用（青森：マルチメディア視聴覚室、八戸：視聴学習室）を制限いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、あらかじめご了承くださいませよう願いたします。

★利用停止期間★

- ・上記操作体験会開催日の 13 時以降
- ・学習センター単位認定試験日の終日

2027 年度履修者向け卒業研究ガイダンス（各コース主催）の開催について

2027 年度履修者向けの卒業研究ガイダンス（大学本部各コース主催）を開催します。

参加を希望される方は、各自、事前にお申し込みください。

現在、一部を除き日程が決まっていない状況です。日程および資料が整い次第、システム WAKABA の学内連絡にガイダンス日程の掲載及び参加募集を開始予定です。

コース	開催日時	開催形態
生活と福祉	6 月 14 日（日）18:30	リアルタイム Web 会議
心理と教育	6 月 13 日（土）13:30	リアルタイム Web 会議
社会と産業	—	オンライン授業「社会科学の研究計画作成法（'26）」の授業科目案内動画をもってガイダンスとする
人間と文化	6 月 20 日（土）15:00	リアルタイム Web 会議
情報	6 月 20 日（土）13:30	リアルタイム Web 会議
自然と環境	6 月上旬を予定	動画をアップロード

卒業研究とは？

★**選択科目！** 全科履修生が履修できる選択科目（必修ではありません）

★**通年科目！** 履修期間は 4 月から 1 年間

★**6 単位修得！** 履修し合格すると自コースの専門科目 6 単位が修得できます。
※ 6 単位の内訳：放送授業分 3 単位・面接授業分 3 単位

★**直接指導！** 指導教員から直接指導を受け「卒業研究報告書」を作成

履修するには？

★**8 ヶ月前に申請が必要**

履修には申請が必要です。履修開始の 8 ヶ月前、つまり履修前年度の 8 月には申請書を提出する必要があります。

★**申請条件（2027 年度履修の場合）**

2026 年 4 月時点で、全科履修生として 2 年以上在学し 62 単位以上修得済みの在学中の方（3 年次編入は 2 年在学、2 年次編入は 1 年在学したとみなします）

特例：2024 年度第 2 学期に 1 年次入学、2025 年度第 2 学期に 2 年次編入し、かつ 2026 年度第 1 学期末において、62 単位以上修得済みまたは修得見込みの方

★**申請書の審査があります**

申請書を審査のうえ、認められれば履修が可能です。

詳細は？

青森学習センター・八戸サテライトスペースで配布する「卒業研究履修の手引」を確認。
2027年度履修者用は6月上旬配布開始予定。



2026 年度夏季集中科目履修生募集

夏期学習期間に「学校図書館司書教諭講習」を開催します。
本学教養学部にて在籍中の方も、下記の期間に科目登録すると夏季集中型科目を履修することができます。募集要項は事務室窓口で配布しており、お電話・放送大学ホームページからも請求できます。

★出願・科目登録期間★

5月1日(金)～5月31日(日)※私書箱必着(郵送のみの受付)

職員の紹介



【青森学習センター】

センター所長：中野 博之
事務長：澤田 和則
総務主任：浅利 成就
総務担当：古川 馨

教務主任：長谷川 直生
教務担当：福田 湖雪
教務担当：福土 秋英



【八戸サテライトスペース】

総括主任：本間 孝浩
受付・図書担当：小笠原 真弓
受付・図書担当：小笠原 映子

よろしくお願いたします!!

青森学習センター 〒036-8003 青森県弘前市駅前町 9-20 ヒロキ4階
TEL：0172-38-0500 FAX：0172-38-1299 X：@aomoricenter

八戸サテライトスペース 〒039-1102 青森県八戸市一番町 1-9-22 ユートリー 4階
TEL：0178-70-1663 FAX：0178-70-1667

青森学習センターあおり校 〒030-0801 青森県青森市新町 1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)
※視聴・貸出のみ対応 TEL：017-776-2455 FAX：017-776-2400

放送大学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp/>
青森学習センターウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>

